

様式1 **令和元年度 清瀬市立清瀬第十小学校 学校評価計画**

学校の教育目標	・豊かに感じ、よく考える子ども ・友達の良さがわかり、助け合う子ども ・心身をきたえ、明るく生きていく子ども	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	・昨年度同様、指導の最重要項目を「確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実践を重視した教育活動を行う。」とした。それに伴い主体的・対話的で深い学びとなるよう、学習内容を工夫して展開する資質や能力を教員が身に付ける必要がある。そこで管理職による授業観察及び教員同士の相互授業参観を通して全教員の授業力向上を図る。 ・本校の特色ある教育活動を3つにまとめた。昨年度から水曜日6時間授業を展開することにより5,6学年で年間70時間、3,4学年で年間35時間の外国語活動の授業時数を確保している。今年度は1,2学年でも朝学習の時間に英語遊びを取り入れるなど指導の充実を図る。また体験や活動を通して伝統文化の良さを理解させることも継続して特色ある教育活動として取り組む。
目指す学校像(ビジョン)	【目指す学校像】①児童にとって明るく楽しく安心できる学校 ②教職員にとって明るく楽しく指導が行える学校 ③保護者や地域から信頼される学校 【目指す児童・生徒像】人として大切なこと、将来、社会に出た時の基本を身に付けている児童 【目指す教師像】児童に達成感を味わわせ、確かな学力・自尊感情を育ませることのできる教師		

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果 取組指標、成果指標それぞれが「4」と一番高かった項目は、確かな学力の向上として定めた「週の指導計画の内容の充実」であった。学校関係者評価も「4」と高くなっており教育活動が意図的に展開されている。
課題 取組指標が「1」成果指標が「3」と一番低かった項目は、本校の特色①として定めた「日本や郷土の自然や文化を大事にする児童の育成・体験や活動を通して伝統文化の良さを理解」であった。一昨年度と比較して児童の学習満足度は上がったが、教員の伝統文化における教育活動の意識が低かった。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実践を重視した教育活動を行う。	週の指導計画の内容の充実を図り、児童が分かりやすい授業を行う。	週の指導計画に学習のねらいや活動を記入し、授業ではめあてや流れも明示することで分かりやすい授業を行う。	4 1単位時間のねらいが明記された週案が90%以上 3 1単位時間のねらいが明記された週案が80%以上 2 1単位時間のねらいが明記された週案が70%以上 1 1単位時間のねらいが明記された週案が70%未満	4 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが85%以上 3 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが75%以上 2 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%以上 1 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%未満
		主体的・対話的で深い学びとなるよう、学習内容を工夫して授業を展開する。	教員相互で授業参観の機会を作り、事後に協議を行わせて授業改善を図る。	4 授業参観や協議を効果的に行い授業改善が十分にできた。 3 授業参観や協議を効果的に行い授業改善できた。 2 授業参観や協議を効果的に行ったが授業改善が不十分 1 授業参観や協議を効果的に行わず授業改善が不十分	4 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが85%以上 3 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが75%以上 2 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%以上 1 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%未満
豊かな心の育成	一人一人の児童の良さや違いを認め合い、命と人権を大切にすること豊かな児童の育成を図る。	互いの良さを理解し、すすんで助け合う児童の育成に努める。	来校者や教職員、地域の人にすすんであいさつできるようあいさつ運動を取り入れて指導する。	4 教職員の自己評価で肯定的な回答が90%以上 3 教職員の自己評価で肯定的な回答が80%以上90%未満 2 教職員の自己評価で肯定的な回答が70%以上80%未満 1 教職員の自己評価で肯定的な回答が70%未満	4 すすんであいさつする児童が90%以上 3 すすんであいさつする児童が80%以上 2 すすんであいさつする児童が70%以上 1 すすんであいさつする児童が70%未満
		いじめの未然防止に努める。	アセスやアンケートをもとに、いじめ調査を定期的実施する。いじめがあった際は、いじめ防止対策委員会等で適切に対応する。	4 調査実施回数が年間5回以上実施 3 調査実施回数が年間4回以上実施 2 調査実施回数が年間3回以上実施 1 調査実施回数が年間3回未満実施	4 アンケートによる児童の取組への満足度評価A・Bが90%以上 3 アンケートによる児童の取組への満足度評価A・Bが80%以上 2 アンケートによる児童の取組への満足度評価A・Bが70%以上 1 アンケートによる児童の取組への満足度評価A・Bが70%未満
健やかな体の育成	基本的な生活習慣の定着と心身の健康や体力の向上を図り、生きる力にあふれる児童を育成する。	児童がすすんで運動や遊びに親しみ、健康の保持増進と体力の向上を図る。	なわとびの出前授業の実施、学習カードの活用、教員の実技研修を行うことで指導の工夫改善を図る。	4 出前授業や学習カードの工夫を実施した学年が全学年 3 出前授業や学習カードの工夫を実施した学年が5学年 2 出前授業や学習カードの工夫を実施した学年が4学年 1 出前授業や学習カードの工夫を実施した学年が3学年以下	4 すすんで外で運動すると答える児童が85%以上 3 すすんで外で運動すると答える児童が75%以上 2 すすんで外で運動すると答える児童が65%以上 1 すすんで外で運動すると答える児童が65%未満
		自己の健康を意識し、すすんで健康的な生活と基本的な生活習慣の確立を目指す。	「早寝・早起き・朝ごはん」の実践を様々な機会に働きかける。	4 取組みを毎週実施する。 3 取組みを月に3回以上実施する。 2 取組みを月に2回以上実施する。 1 取組みを月に2回未満実施する。	4 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが85%以上 3 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが75%以上 2 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%以上 1 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%未満
本校特色①	日本や郷土の自然・文化を大切にすること児童を育成する。	体験や活動を通して伝統文化の良さを理解させる。	蚕学習や石田波郷俳句作りへの参加、郷土カルタや百人一首の活用を充実させる。	4 伝統文化に関する体験や活動を90%以上の学級で取り組む。 3 伝統文化に関する体験や活動を80%以上の学級で取り組む。 2 伝統文化に関する体験や活動を70%以上の学級で取り組む。 1 伝統文化に関する体験や活動を70%未満	4 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが85%以上 3 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが75%以上 2 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%以上 1 アンケートによる児童の満足度の評価A・Bが65%未満
本校特色②	外国語やその文化に興味を示す児童を育成する。	5,6学年で年間70時間、3,4学年で年間35時間の外国語活動の授業時数を確保し授業を充実させる。1,2学年でも朝学習で外国語に触れる時間を確保する。	校内研究を外国語活動とし、授業力向上、教材開発を充実させる。	4 校内研究に積極的に参加し、授業力向上に十分貢献できた 3 校内研究に積極的に参加し、授業力向上に貢献できた。 2 校内研究に積極的に参加したが、授業力向上に貢献できなかった。 1 校内研究に積極的に参加せず、授業力向上に貢献できなかった。	4 外国語活動が好きと答える児童が90%以上 3 外国語活動が好きと答える児童が80%以上 2 外国語活動が好きと答える児童が70%以上 1 外国語活動が好きと答える児童が70%未満
本校の特色③	児童・保護者・地域にとって愛着のある学校を目指し、連携を密にし、開かれた学校づくりを推進する。	自らの学校に愛着をもち、本校の一員としての役割意識を育てる。自らすすんで働こうとする児童を育てる。	係・当番活動・清掃活動を充実させる取組を実施する	4 係・当番活動・清掃活動を充実させる取組を90%以上の学級で実施 3 係・当番活動・清掃活動を充実させる取組を80%以上の学級で実施 2 係・当番活動・清掃活動を充実させる取組を70%以上の学級で実施 1 係・当番活動・清掃活動を充実させる取組を70%未満の学級	4 「係・当番・清掃活動を頑張った」と答える児童が90%以上 3 「係・当番・清掃活動を頑張った」と答える児童が80%以上 2 「係・当番・清掃活動を頑張った」と答える児童が70%以上 1 「係・当番・清掃活動を頑張った」と答える児童が70%未満
		保護者や地域の方との連携を深め、教育活動への参加・参画を進める。	学校便りやホームページ、学級便りでの発信を行い、保護者や地域の方の学校への理解を深め、ボランティア活動等教育活動への協力を促す。	4 ホームページの更新・学年学級専科便り発行の取組の自己評価90% 3 ホームページの更新・学年学級専科便り発行の取組の自己評価80% 2 ホームページの更新・学年学級専科便り発行の取組の自己評価70% 1 ホームページの更新・学年学級専科便り発行の取組の自己評価70%未満	4 ボランティアの参加人数がのべ200人以上 3 ボランティアの参加人数がのべ150人以上 2 ボランティアの参加人数がのべ100人以上 1 ボランティアの参加人数がのべ100人未満